
便利屋～ダメ男の物語～

ブル神

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

便利屋〜ダメ男の物語〜

【Nコード】

N 6 7 3 4 M

【作者名】

ブル神

【あらすじ】

悲運の男、荒巻蓮。彼は、人生の崖っぷちに立たされ、見事に落っこちた。そんな彼の人生は1つのバイトによって変わっていく。笑いあり、涙あり、感動ありの痛快コメディー。

全てのはじまり（前書き）

この物語はあるダメ男が本当の自分を見つけ、人生を変えていく物語です。「人生、辛い事や悲しい事があっても乗り越えていける」そんな作者のメッセージを感じてくれると嬉しいです。

全てのはじまり

俺の名前は荒巻蓮^{あらまきれん}。23歳だ。つい先日まで一流企業の課長だった男だ。地元は秋田。かなりの田舎だ。親は農業をしている。大学は東北大学出身。結構有名だ。それのおかげで会社に入れたようなものなのだが。さて、自己紹介は終わりだ。率直に言おう。一週間前、会社をクビになった。別に不正なんかしたわけじゃない。実力が無かったのさ。栄養を濃縮して詰め込んだ栄養ドリンク。俺は人生の全てをこれに賭けた。結果ははずれ。10億円の費用を費やし収入はたったの数十万円。味の悪さと（クリーム多数）コストの高さ（政治問題に発展した）が原因だろう。とにかく、クビになった。そんなわけで、俺はアパートの近くをフラフラと歩いていた。鳥のフンが目の前を落ちていく。当たらないなんて結構運いいじゃん、なんて思っていると犬のフンを踏んだりしていた。そんな馬鹿のような日々が続いていたある日、運命の分かれ道に来了。ちょうど昼、腹も減ったところで昼飯を食いにコンビニに行くか駅にいくか迷っていた。そこに、綺麗な女の人が通りかかる。（綺麗な女）なんて思いながらフラフラとついていった。ここが俺の人生の分かれ道だった。ふと見ると女の人はいなくなっていた。がっかりして来た道を戻っている、ある広告を見つけた。

「便利屋 バイト募集中！詳しくは 丁 番まで！」

へえ、と俺は思った。（こんなの昔だけかと思っていたけど今でもあるんだ）、気になった俺は早速行ってみた。案外あっさり見つけることができた。建物を見た瞬間、俺はあきらめようかと思った。塗装ははげ、壁にヒビは入っている。看板はサビだらけ。中で動いている人影も3人程度。しかし、せっかく見つけたバイト先を捨てるのも惜しい。結局、中に入ってしまった。

「すみませうん。バイトのチラシを見て来たんですけど。」

「はい。ちょっと待って。」

すると、いかにも怪しい男が出てきた。歳は40代くらい。牛乳ビンの底のように分厚いメガネをしている。白髪と黒髪の比が4:6くらいの男だ。それに従って2人さらに出てきた。一人は優しそうな男の人。20代くらいだろう。もう一人も20代くらいだろう。しかし、もう一人の男はスキンヘッドで目つきの悪い、正直暴力団系の人に見えた。すると、ペラペラと話し出した。

「こんにちは。バイトに来てくれたの？どーもどーも、ありがとう。私は、佐藤武さとうたけし。この会社の社長です。こっちの二人はうちの社員。もっとも二人しかいないけどね。この普通の男が長島次郎、スキンヘッドの悪人顔がジョン・マイケル、麻薬の売人だ。・・・、冗談だよ。徳永純とくながじゅんだ。全く怖くないから安心して。」

（安心できるわけがない）。そんな風に思いながらもここでバイトがしたいというと

「喜んで歓迎するよ。うちのバイトは月給でも週休でもない、日給制だからね。」

（日給制？聞いたこともない。本当に信頼していいのか？）。そんな心を見透かしたように男はまた話し出した。

「日給制っていうのは、その日の収入によって給料が変わるんだ。1ヶ月たつても数千円なんて日もあれば3日で300万円なんて時もある。簡単に言くと、刺激が好きな奴には向いている、物静かなネガティブ野郎には向いていない、ってことだ。」

馬鹿か、こいつらは。そう思いながらも気づけばもう契約してしまった。ドタバタと帰り、その後のことは覚えていない。帰ったら寝てしまった。現実から逃れたいと思いながら・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6734m/>

便利屋～ダメ男の物語～

2010年10月16日00時02分発行